

熊本高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	データベース
科目基礎情報					
科目番号	HI506		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	人間情報システム工学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	石河博著,「データベース」,森北出版社,2008				
担当教員	孫 寧平				
到達目標					
データモデル、データベース設計法に関する基本的な概念を理解できる。データベース言語SQLを用いて基本的な複合的なデータ問い合わせを記述できる。関係データベースのERモデル, ERD, スキーマを理解でき, 簡単なデータベースを設計できる。正規化を理解できる。WEBデータベースの構築におけるコネクション, セッション, セキュリティについて理解できる。HTML5, JQuery, PHP, SQLなどを用いて, WEBデータベースシステムの設計と実装を行える。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
データベースの基本概念とデータモデル, 関係データベースについて筆記試験で評価する。	データベースの役割と応用, データベースのアーキテクチャとデータ独立性, データモデルを理解できる。関係データベースのリレーション, 関係代数を理解でき, 演算できる。		データベースの役割と応用, データベースのアーキテクチャとデータ独立性, データモデルを理解できる。関係データベースのリレーション, 関係代数を理解できる。		データベースの役割と応用, データベースのアーキテクチャとデータ独立性, データモデルを理解できる。関係データベースのリレーション, 関係代数を理解できない。
SQLのデータ定義, データ操作, 基本的な問い合わせ, 複合的な問い合わせ, stored procedure, stored function, トリガなどについて筆記試験と実技試験で評価する。	SQLのデータ定義, データ操作, 基本的な複合的な問い合わせを理解でき, 利用できる。stored procedure, stored function, トリガを作成および利用できる。		SQLのデータ定義, データ操作, 基本的な問い合わせを理解でき, 利用できる。複合的な問い合わせ, stored procedure, stored function, トリガを理解できる。		SQLのデータ定義, データ操作, 基本的な問い合わせを理解できない。複合的な問い合わせ, stored procedure, stored function, トリガを理解できない。
関係データベースのERモデル, ERD, スキーマ, 正規化について筆記試験で評価する。	関係データベースのERモデル, ERD, スキーマを理解でき, 簡単なデータベースを設計できる。正規化を理解でき, 正規化をこなせる。		関係データベースのERモデル, ERD, スキーマを理解でき, 簡単なデータベースを設計できる。正規化を理解できる。		関係データベースのERモデル, ERD, スキーマを理解できない。簡単なデータベースを設計できない。正規化を理解できない。
WEBデータベースの構築におけるコネクション, セッション, セキュリティについて演習で評価する。 HTML5, JQuery, PHP, SQLを用いたWEBデータベースシステムの設計と実装について実技試験で評価する。	WEBデータベースの構築におけるコネクション, セッション, セキュリティについて理解できる。 HTML5, JQuery, PHP, SQLを用いて, 実用性の高いWEBデータベースシステムの設計と実装をこなせる。		WEBデータベースの構築におけるコネクション, セッション, セキュリティについて理解できる。 HTML5, JQuery, PHP, SQLを用いて, 簡単なWEBデータベースシステムの設計と実装をできる。		WEBデータベースの構築におけるコネクション, セッション, セキュリティについて理解できない。 HTML5, JQuery, PHP, SQLを用いて, 簡単なWEBデータベースシステムの設計と実装をできない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	データベースの設計・応用技術は, 情報システムを構築する上で重要な柱となるものである。本科目は, データモデル, 関係代数, 関係データベース, スキーマ, 正規化などデータベースの基礎と, SQLを用いた基本的な及び複合的なデータ問い合わせの利用方法を, 理論・実践両面からのアプローチにより身に付けることを目的とする。また, WEBデータベースの構築におけるコネクション, セッション, セキュリティについて講義し, HTML, JQuery, PHP, SQLなどを用いて, WEBデータベースシステムの設計と実装を行える実践的な技術を習得する。				
授業の進め方・方法	講義と演習を交互に行う形で進める。 学習の各段階において自学学習用の課題を設け, 学習の成果を定期試験等筆記試験や実技試験, 演習を総合し評価する。 実技試験または演習レポートの提出期限は課題提示と同時に示し, 期限に遅れて提出されたレポートに対し減点する。 60%以上の得点率で目標達成とみなす。				
注意点	規定授業時間数は60時間, 放課後・家庭で30時間程度の自学自習が求められる。 講義での説明を良く聞き, 演習課題に積極的に取り組むことで, 知識を身に付ける。大規模で複雑な電子データを, 利用しやすく, 変更しやすく, 間違いが生じにくいように保持するにはどのようにすればよいのか。また, 大規模で複雑なデータを利用するソフトウェアはどのようにして開発するのか。本講義を通して, このような疑問を解決するための具体的なイメージを描けるようになることが望まれる。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	本科目の概要, 授業方針, 評価方法等について紹介する。	
		2週	データベースの役割と応用, データベースのアーキテクチャとデータ独立性, データモデル	データベースの役割と応用, データベースのアーキテクチャとデータ独立性, データモデルについて理解できる。	
		3週	関係データベース (1) リレーション, 関係代数	関係データベースのリレーション, 関係代数を理解でき, 演算できる。	
		4週	関係データベース (2) リレーション, 関係代数	関係代数を理解でき, 演算できる。	
		5週	SQL (1) データ定義, リレーションの作成, データ操作	SQLのデータ定義, リレーションの作成, データ操作ができる。	
		6週	SQL (2) 基本的な問い合わせ	SQLの基本的な問い合わせを理解でき, 利用できる。	
		7週	SQL (3) 複合的な問い合わせ	SQLの複合的な問い合わせを理解でき, 利用できる。	
		8週	中間試験	以上の内容の理解と自力で実装力を確認する	
	2ndQ	9週	SQL (4) stored procedure, stored functionの作成と利用	stored procedure, stored functionの作成と利用ができる。	
		10週	SQL (5) トリガを作成と利用	トリガを作成および利用できる。	

後期		11週	S Q L の総合演習	
		12週	関係データベース（１） ERモデル，ERD，スキーマ	関係データベースのERモデル，ERD，スキーマを理解できる。
		13週	関係データベース（２） データベースの設計，正規化	データベースの設計，正規化の手法を理解できる。
		14週	関係データベース（３） 第1～第5正規形，ボイス・コッド正規形，正規化の演習	第1～第5正規形，ボイス・コッド正規形等についてよく理解できる。INF，2NF，3NFの実例を取り上げ，データベースのリレーシヨンの正規化を行える。
		15週	定期試験：関係データベースの概念，S Q L の利用	以上の内容の理解と自力で実装力を確認する
		16週	定期試験答案返却	
	3rdQ	1週	W E Bデータベース	W E Bデータベースの構築における設計と実装方法について理解できる。
		2週	P H Pプログラミング	P H Pプログラミングの基本について理解できる。
		3週	P H Pプログラミング演習	同上
		4週	P H PとS Q L	P H PとS Q Lとのコネクション，アクセス，問い合わせ方法について理解する。
		5週	P H PとS Q Lプログラミングの演習	同上
		6週	P H PとS Q Lプログラミングの演習	同上
		7週	W E Bデータベース設計の演習	W E Bデータベースの設計と実装方法について理解し，実践する。
		8週	中間試験	以上の内容の理解と自力で実装力を確認する
	4thQ	9週	jQuery・P H P・S Q Lによる W E Bデータベースの操作，データの通信	jQuery・P H P・S Q LによるW E Bデータベースの操作，データの通信方法を理解でき，プログラミングできる。
		10週	jQuery・P H P・S Q Lプログラミング演習	同上
		11週	jQuery・P H P・S Q Lプログラミング演習	同上
		12週	セッション，セキュリティ	S Q L及びW E Bデータベースのセッションとセキュリティについて理解でき，応用できる。
		13週	W E Bデータベースシステムの設計と実装演習	創作演習を通して，W E Bデータベースの構築における実践的な技術の習得を目指す。
		14週	W E Bデータベースシステムの設計と実装演習	同上
		15週	W E Bデータベースシステムの設計と実装演習，実技試験	同上
		16週	実技試験課題の解説とグループ発表	以上の内容の理解と自力で実装力を確認する

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	その他の学習内容	少なくとも一つの具体的なコンピュータシステムについて、起動・終了やファイル操作など、基本的操作が行える。	3	
				少なくとも一つの具体的なオフィススイート等を使って、文書作成や図表作成ができ、報告書やプレゼンテーション資料を作成できる。	6	
				少なくとも一つのメールツールとWebブラウザを使って、メールの送受信とWebブラウジングを行うことができる。	6	
				コンピュータウイルスやフィッシングなど、コンピュータを扱っている際に遭遇しうる代表的な脅威について説明できる。	4	
				コンピュータを扱っている際に遭遇しうる脅威に対する対策例について説明できる。	3	
				データモデル、データベース設計法に関する基本的な概念を説明できる。	5	
				データベース言語を用いて基本的なデータ問い合わせを記述できる。	5	
				メディア情報の主要な表現形式や処理技法について説明できる。	5	

評価割合

	筆記試験	実技試験	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	25	15	40
専門的能力	35	25	60
分野横断的能力	0	0	0